

病院の庭菜園にキュウリとトマトなる

病棟の谷間、日照不足が気になるが・・・



金子先生に提案いただき急遽作られた猫の額ばかりの野菜畑。ミニトマト2本、トマト1本、キュウリ2本がけな気に育っています。南棟「さくら」入り口の北側に位置して、日あたりはまざる場所です。入院している患者が入れ代わり立ち代わり見ては、「わき目を摘むように」「手をくれるように」などと付き添いの医療療法士に野菜栽培のアドバイスをしてくれているようです。野菜はすくすくと育ち、ミニトマトは、赤と黄色に色づき始め、キュウリもなりました。「早く元気になって退院してくれればいいな。」と野菜も思っているに違いありません。

守る会の行事です 皆さん誘い合って参加ください

◇花壇の草取り 8月19日(日) 午前6時30分玄関前集合

◇庭木剪定・ガーデニング 10月7日(日) 午前9時玄関前集合

映画「玄牝」(げんぴん) 上映会&講演会 桑原良奈先生企画

8月5日(日)開催です!!

守る会会報61号で開催日を欠落してしまいました。お詫びし訂正します。上記映画の上映スケジュールは下記のとおりです。

第一部 上映会：10時～11時30分(子連れok)

上映会後に、松浦照子さん達 愛と平和のさんば組合による『安産三原則～吉村節～』の唄が披露されます!

上映会：13時～14時30分(大人のみ、託児あり)

第二部 岡野真規代さん講演会 15時～16時

講演会後に岡野さん・松浦さん達、吉村医院を作ってきた女たちの対談を企画しています。

第四部 懇親会 17時～19時 全国的に活躍している岡野さん・松浦さん達とお産について熱く語り合しましょう。

場所：上映会・講演会 八坂公民館 あきつ(長野県大町市八坂1133-1)

懇親会 いろり屋やさか(長野県大町市八坂1135)

共にJR信濃大町駅より車で15分

費用：第1～3部 資料代として各500円いただきます。

第4部 懇親会 1人3000円(7月30日までに下記へご連絡ください。)

○お問い合わせ先 09080523918

ryo_rzr250@yahoo.co.jp

○主催 愛と平和のさんば組合 大北支部

(大町総合病院産婦人科 桑原良奈)

後援：市立大町総合病院、助産院おりん、SANBAの会、中日新聞、市民タイムス、大町有線放送、大町市女性団体連絡協議会

求む・・・必読

市民公開講演会 高木哲先生講演会要旨(上)

平成20年危機到来

内科医が5人→3人に減り、診療制限することに

危機の原因は

- ・ 医師不足
- ・ 公立病院の体質
- ・ 地域住民の問題

公立病院の体質

- ・ 市役所からのローテーション人事では改革は難しい
- ・ 親方日の丸の経営感覚
- ・ 自分たちの病院を良くしていこうという病院愛の希薄さ
- ・ 大学への依存
- ・ 頑張っても給料は一緒。働かなくても給料は一緒だし、くびにもならないという意識



医療は空気

- ・ 医療は空気みたいなもの。だから窒息して死ぬまでその大切さが分からない。そして、医療は地域社会の生命維持装置。なくなってしまうと、若い親は子どもを育てられない。高齢者だって住めなくなる。でもそれに気づいて本気で対策を取っている地域は本当に少ない。医師が不足すると、多くの自治体は大学の医局に医師の派遣を頼むだけでほとんど工夫がない。そして頑張るのは医療現場の人ばかり。行政や住民には危機が伝わらない

なぜ？ 私の疑問

- ・ どうして患者さんが来てくれないんだろう？
- ・ どうして地元到医院があるのに、他に行ってしまうんだろう？
- ・ 大町病院がなくなっても、地元の人には困らないのか？
- ・ 必要とされていないなら、赤字で市の財政負担にもなっているし、潰してしまえばいいのに、、、必要なんだろうか？

なぜ？ 私の活動の原動力

- ・ 外科は病院の大黒柱であるという、外科医としてのプライド
- ・ 外科部長として大町病院にしながら、病院が潰れるなんて情けない
- ・ 二人いる後輩外科医にもっと手術をやらせてあげたい
- ・ 二度目の大町病院、お世話になったし、愛着もある、潰れるのは悲しい、、、

活動開始

- ・ 平成 20 年 2 月 市長訪問
- ・ 院内集会
- ・ 平成 20 年 内科診療制限で患者減
- ・ 平成 21 年 2 月 開業医訪問
- ・ 市民公開講座、有線放送、病院便りなどで住民に病院の危機を訴える
- ・ 平成 21 年 9 月 住民との対話集会
- ・ 総合診療外来
- ・ 「守る会」結成
- ・ 第一回病院祭（平成 23 年）



何とか 10 年持ちこたえたが・・・

- ・ 県の一過性の介入による一時的な医師の増員、しかしすぐに減
- ・ 信州大学に関口総合診療科開設、そして大町病院を拠点に
- ・ 臨床のみでなく、教育をしっかりと行うことで、学生、研修医が集まる病院になってきた！
- ・ しかし専門医不足は相変わらずであり、厳しい経営状態が続いている

さらに・・・

- ・ 医療の問題は、その地域のニーズと切り離せない
- ・ 地域医療においては、人口減少と医療ニーズの縮小はセットで考えるべき問題
- ・ それぞれが影響し合い、負のスパイラルになるのではなく、正のスパイラルになるようにできれば、、、

今後の課題

- ・ 医師確保 ・ 収益改善 ・ 経費削減 ・ 目標管理 ・ もう一度地域に（ナイトスクールの開催） ・ 地域ぐるみで

医師確保

- ・ 総合診療科を中心に、しかし専門医も必要
- ・ 透析医の確保 ・ 整形外科医 ・ 消化器内科医
- ・ 脳外科、外科の若手 ・ 産婦人科、泌尿器科も
- ・ 総合診療専攻医



収益改善

- ・ 外来単価：CT、MRI、内視鏡、エコーなどをさらに活用
- ・ 入院単価：手術増、リハビリの充実、栄養指導、薬剤指導など
- ・ 外来患者、入院患者の数を増やす

経費削減

- ・ 適切な職員数
- ・ 市役所のローテーションは最小限とし、優秀でやる気の事務員をプロパー化
- ・ 普通の民間の感覚で、無駄の削減、節約
- ・ 民間の血を入れる必要も

目標管理

- ・ 病院の目標実現のために、各部署でどんなことができるかを考える
- ・ より具体的に、数値を示して
- ・ 短期間で振り返りをし、修正していくことで、1年後の目標達成を目指す
- ・ 年度末には、各部署ごとの発表会をする

(以下次号に続く)

会費の納入者（6月30日現在 順不同・敬称略）

29年度分

青木俊樹 池田アキ子 青木亮佐 小林敏博 傘木覚 木崎工房 木崎温泉開発 傳刀仁美 五味幸子
松島博 松島吉子

30年度分

田辺芳宏 水久保 節 江津梯雄 五味幸子 倉科健夫 若松正枝 平林千里 田中美智子 小林佐恵子
西澤富江 鎌倉一幸 池谷幸太郎 北原靖朗 西澤礼子 丸山一由 内川賀介 中村洋子 松坂則子
北野憲雄 川上佐貴子 倉科幸 白澤千代子 小日向美春 縣信 大田正治 宮原幸子 柏原一美
島田剛志 八角祥子 八角宣一 太田千鶴子 竹田保二 竹田たけ子 川上節子 大日向明 原聖子
北村喜男 北村矢永子 北村桂一 北村明子 種山博茂 丸山則子 清水真弥 藤澤祐子 清水香代子
伊藤正子 赤羽孝子 高橋博久 清水あさひ 松下直生 栗原洋子 諏訪光昭 牧義雄 海川明文
黒岩良介 内山博 内川よし子 内川孝 柳澤英幸 渋田見博 渋田見洋子 渋田見尚美 山崎智子
松澤郁子 松山玉江 山下好隆 中島節子 田中栄一 島田元美 小林千恵子 松澤重夫 西澤千文
田中秀司 志賀洋子 小林真奈美 興国和美 塩原義夫 相澤文人 太田美知子 高橋良夫 高橋深雪
丸山良子 平林信子 山口悦子 神社正幸 小山富也 黒岩禮子 太田節子 上原信義 松井和子
太田久彦 牧野芳子 沼田修治 松本武子 川原秀夫 横田孝徳 和田由美子 宮尾正俊 平林千恵
矢口恵子 矢口幸夫 矢口房子 大日方修 小林由美枝 田中知子 伊澤純子 西澤くみ子 伊藤希

新規加入者

酒井陽子 伊澤純子 和田由美子 小林由美枝 西澤くみ子 伊藤希 田中知子

退会者 木村歩（所在不明のため）